

New

地域戦略人材塾

令和8年度 募集開始

人口が減っても地域の豊かさを保つための
「賢く縮む地域づくり」



現場で活かせる
実践知を学ぶ1年間

実践知

×

事例

- 1 人口減少を前提にした自治体の考え方を学ぶ
- 2 視察で学ぶ
先進自治体のリアルな政策
- 3 資源選択・DX・未来視点を統合する戦略思考

変化の激しい時代に、
まちづくりを支える自治体職員へ！

この塾は、各自治体の垣根を超えて学びあうことにより、政策の選択肢を豊かにすることによって、地域創生をサポートすることを目指しています。

2026年度は「賢く縮む（スマートシュリンク）」を大括りのテーマとしています。これは、人口の減少を所与として、人口が減っても地域に住む人々のウェルビーイング（豊かさ、福祉）を維持し、さらには高めて行こうという考えです。地域創生を考えていく上で避けて通れない課題であり、近年広がりつつある政策スタンスです。

皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

地域戦略人材塾 塾長
小峰 隆夫

大正大学地域構想研究所 客員教授



本講座の案内

01

「新しい地方創生」



2025年以降の潮流を俯瞰

地方創生2.0の総括から、2025年以降に始まる“次の地方創生”の流れを整理。人口減少を前提とした政策転換のポイントを、最新の国の議論とともに俯瞰します。これから自治体が備えるべき視点が明確になります。

02

理論 × 実践の融合



アカデミックと事例を体系化

経済学・地方自治論を専門とする大学教授による講義と、先進自治体の現場の実践事例を組み合わせ、“理論と現場をつなぐ学び”を1年間通して構築します。学んだ内容が自自治体の課題整理に即応できます。

03

全国の自治体が集う



他自治体と意見交換できる場

全国の自治体職員が毎月オンラインで参加し、課題や取り組みを共有しながら学び合う“実務者コミュニティ”。他自治体の先進的な取り組みや悩みに触れることで、自地域の課題を多角的に見つめ直すことができます。

▼令和8年度の講座概要 ※記載は開催予定月です。2026年4月時の予定です。時世をながら変更する場合がありますことご了承ください。

①	5月27日	開会式 これからの地域創生をどう考えるか	ミニ基調講演 「スマートシリングと自治体」	大正大学地域構想研究所 片山 善博 所長
賢く縮む —人口減少を前提としたまちづくり—				
②	6月10日	人口減少下における地域と経済	新しい地域創生の向かう方向性、経済・人口動態の最新データをもとに、人口減少下で自治体が取べき基本戦略を整理します。	大正大学地域構想研究所 小峰 隆夫 客員教授
③	6月24日	自治体間情報交換（所長との対話を含む）		大正大学地域構想研究所 片山 善博 所長
将来に必要な公共施設とは？				
④	7月8日	公共施設の再編あるいは統合	老朽化・財政制約の中、公共施設をどう再編すべきか。先進自治体の意思決定プロセスを学びます。	浜松市役所 財務部 アセットマネジメント推進課 北嶋 敏明 課長
⑤	7月22日	岐路にたつ公共施設を考える		宮城大学事業構想学群地域創生学類 上森 貞行 准教授
自治体DX				
⑥	9月9日	自治体の業務見直し、削減（BPR）や共同化に向けて	自治体の日常業務がひっ迫してくるなか、そもそその業務は必要か、手順は適正なのか等の抜本的見直し（BPR）や、業務処理の共同化等により、浮いた時間を地域独自の施策に向けるなど、トランスフォーメーションの具体例を示しながら学びます。	CocreCoコンサルティング合同会社 原 秀樹 代表
⑦	9月30日 ※第5週	BPRによる業務改革の実例		調整中
人口減少下の地域の将来をデザインする				
⑧	10月14日	未来から考える思考FDの必要性	将来世代を考える「フューチャー・デザイン」を学び、市民協働によるまちづくりへ実践的に活かす視点を養います。	大正大学地域構想研究所 西條 辰義 客員教授
⑨	10月28日	フューチャー・デザインの基礎理論&実践		岩手県矢巾町教育委員会事務局 学校教育課長 高橋雅明
⑩	11月11日	フューチャー・デザインの実践		
先進地の視察				
⑪	10月下旬	— フューチャー・デザインの現場	“賢く縮む”また“フューチャー・デザイン”実践事例地を訪問し、新しい政策が実現する現地のプロセスや熱気を体感する機会。	
⑫	1月中旬	— 賢く縮むまちづくり事例		
特別公開講座				
⑬	1月下旬	特別公開講座		
⑭	2月中旬	意見交換会		

